

緑豊かな自然の町、たちばなのお米



## さがびより刈取終了！

9月に入り、どんより雲の雨続き。毎週ことに台風騒動と暑い夏はござりにいったりや！。

本年産のさがびよりの刈取は、10月8日から開始し、10月17日をもって終了しました。9月29日には、特Aづくり確認会を実施、各地区から選抜された「選りすぐり圃場」と葉色から判断する「選りすぐり米」の確認会を実施しました。

本年産のお米の出来栄えですが、昨年のお米は、全般に葉色の切れも良好で「選りすぐり米」認定圃場も多かったのですが、今年の米は、葉色判断で、なかなか認定圃場の基準値にかないません。そんななかで選抜された圃場については「超選りすぐり米」ってことでしょー！昨年は、低タンパクだけどお米の香りにいまいちかけるとの評価もありましたので、今年の「橘産さがびより」の評価を楽しみにしています。



平成28年10月21日発行

10月17日、シンガポールからの6名のお客様をお迎えして、さがびよりの稻刈り体験行いました。当初は、稻作体験を通じて、水田オーナーになって頂き、収穫したお米をオーナーにお贈りする計画をしてましたが、4月14日発生した熊本地震の影響もあり、田植体験ができなかつたことから、オーナー制ではなく、モニターツアーとなりました。当日の天気予報は雨。稻刈体験を実施できるか危ぶまれましたが、稻刈り前には晴れ間が見え始め、コンバイン試乗での稻刈り体験では、参加者の皆さん興味しんしんの様子で、初めての体験に大喜びでした。

小松武雄市長から「アクティビティを通して、武雄市の真心を感じとつて頂きたい」と歓迎のあいさつ。和氣あいあいした体験ツアーで、最後には、地元のお母さん方が「おもてなししおにぎり」に「佐賀のり」をおいしそうに、おかわりをして食べて頂きました。昼食がこの後ツアープラン正在することを知っていたことから、大丈夫かなと思いつつも、稻刈りしたあとに、新米のおにぎり。これに勝る御馳走はないなど一人納得していました。

「来年は、田植から参加したい」との言葉と笑顔でお見送りできただことに感謝です。



シンガポールオーナー制モニターツアーも好評！